



明治神宮外苑

JICA JOURNAL

日本公認会計士協会準会員会 広報誌 COMMUNICATION MAGAZINE

2021.6-2022.6

日本公認会計士協会準会員会とは

日本公認会計士協会準会員会とは、会計士補と公認会計士試験合格者（以下、併せて準会員）の6,808人（2022年10月31日現在）で構成される、オフィシャルな若手組織です。準会員会は、北海道分会、東北分会、東京分会、東海分会、近畿分会、中国分会、四国分会、北部九州分会という8つの地方分会から成ります。各分会の幹事は、準会員の資質の向上、準会員相互の交流および業界の発展に寄与することを目的として、主に以下のような活動を行っています。

1

講演会・勉強会や交流会などの準会員向けイベントの企画・開催

2

就活セミナーなどの公認会計士試験合格者向けイベントの企画・開催

3

主に高校生に向けて公認会計士を紹介する「そうだ、母校に帰ろう!」企画・開催

4

著名人や様々な分野で活躍されている先輩方へのインタビュー

5

海外の法人視察や海外で開催される研究大会への参加、[Global Journal] 発行などの国際活動

6

活動報告を目的とした「JIJA Journal」の発行をはじめとした広報活動

2021年度活動報告

2021年6月～2022年6月

2021年度に開催した活動の紹介は、当冊子の活動報告のページをご覧ください。

その他、過年度に実施したインタビュー記事や活動報告、今後開催予定のイベント等、準会員会の活動に関する様々な情報を準会員会HP(<https://www.jija.jicpa.or.jp>)に掲載しております。「準会員会」で検索ください。

JIJA JOURNAL

2021.6-2022.6

CONTENTS

東京分会活動報告	4
近畿分会活動報告	7
その他分会	9
北海道分会	9
東北分会	9
東海分会	9
中国分会	10
四国分会	10
北部九州分会	10
全国幹事会報告	11

JIJA JOURNALとは

準会員会の活動報告、情報発信のためのコミュニケーションマガジン。

準会員会では、掲載したもの以外にも様々な活動を行っています。

詳しくは、ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.jija.jicpa.or.jp>



幹事活動を通じてできること

- 個人では困難な企画を実現できること

準会員会の幹事は、組織として活動できることから、大きなイベントを企画することや、個人では接することが難しい相手へのインタビューなどができます。また、そうした企画を実現することは、大きな経験にもなります。

- 地域や年次を超えたネットワークができること

幹事活動を通して、他の地域分会の準会員と交流したり、協会役員や各地域会の方々と交流する機会があります。こうした所属の壁を超えた交流という経験は、日々の業務に携わるだけでは得られない貴重なものにもなり得ます。

これから準会員になる方も、本業だけでは物足りなさを感じている準会員の方も、よろしければ一緒に幹事活動をやってみませんか。
ご興味のある方は準会員会HPのお問い合わせフォーム、またはお近くの幹事へお問い合わせください。

HPへのアクセスは
<https://www.jija.jicpa.or.jp>から、
もしくは「準会員会」で検索を！



準会員会の組織について



分会活動報告



東京分会



2021
7/24

海外で活躍する会計士に インタビュー

アフリカの公認会計士・笠井優雅様へ

2021年7月24日(土)、日本公認会計士協会準会員会東京分会にて、Africa Accounting Advisory Ltdの笠井優雅様をお招きしてインタビューを実施いたしました。

近年、公認会計士業界のグローバル化が進んでおります。しかし、海外駐在でアフリカを希望する人は少ないと思います。準会員の段階で、未経験で発展途上国に

行つて会計士として働くことにイメージがつかめないのが現状です。そこで、日本公認会計士協会準会員会は、発展途上国がどのような人材を求めているのか、どのような業務ができるのかなど、海外に興味のある若手が聞きたい内容をインタビューさせて頂きました。また、日本公認会計士協会準会員会では、毎年海外視察に行き現地の会計士の皆様にインタビューを行ってきました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で、海外視察が困難になり、国際インタビューを実施することができませんでした。今回は、初めてリモートにて海外の方にインタビューを実施しました。今後コロナ禍においても、国際インタビューを実施していく、コロナ後の海外視察のために研鑽したいと思います。

本インタビューは「アフリカを見る。

アフリカから見る。」というテーマで行いました。我々が想像しているアフリカと実際にアフリカに駐在している方から見るアフリカにはどのような違いがあるのかをテーマに、アフリカの事情を伺いました。アフリカの全体の経済規模が急速に発展していることで、日本よりも進んでいる点が多々あることに気づきました。例えば、アフリカでは現在輸血用のドローンなどがあります。これは明らかに日本よりも発展していると思います。発展の理由は、アフリカには広大な土地があり、ここでドローン実験ができるためです。ニューヨークや東京の上空でドローン実験はできませんが、アフリカでは可能となっています。また、アフリカにはSuicaのような決済システムがあり、それが税務と連動しており、消費税の税務申告が自動で行われるようなシステムもあるそうです。

最後に、匿名の質問ソフトを利用して、参加者の方からのご質問に笠井様からご回答いただきました。今までの海外視察では、J-IAジャーナルの読者の皆様には直接ご質問していただくことは困難でしたが、ビデオソフトを使用することにより実現することができました。

今後もコロナの中ではありますが、会員・準会員の国際意識を高めていけるイベントを準会員会で開催したいと存じます。今回本セミナーの講師をしていただいた笠井優雅様、ご参加いただいた皆様に拝謝申し上げます。



右上が笠井優雅様

2021
9/25

公認会計士× ソーシャルビジネス

会計士として社会と

どう関わっていくか？

2021年9月25日(土)、日本公認会計士協会準会員会東京分会では、NPO法人Accountability for Change代表理事を務めておられる池山允浩氏、同理事を務めておられる村越樹生氏、高田雄将氏をお招きして、『公認会計士×ソーシャルビジネス 会計士として社会とどう関わっていくか?』を開催いたしました。

SDGsに象徴されるように、社会的

な課題に取り組むことは、以前にも増して重要となり、あらゆるビジネスで求められています。このような時代の中で、公認会計士としてどのように社会貢献ができるのかを考え、行動することが必要になってきています。そのような情勢を背景に、公認会計士のソーシャルビジネスへの関わり方を参加者と共に考えるためのセミナーを企画いたしました。

本セミナーは2パートに分けて行いました。前半パートでは講師の方々から「NPO法人とは」、「プロボノとは」等の基本的な知識を解説していただくとともに、ソーシャルビジネスに対する公認会計士としての関わり方について、講師の方々の実践に基づく講義が行われました。後半パートではZoomのブレイクアウトルーム機能を利用した少人数のディスカッションを行いました。講師、参加者を交えた少人数の対話により前半パートでの学びや



ソーシャルビジネスに対する考えを深めていく時間となりました。

充実したセミナーの内容に

比例するように、参加した皆様から、多くのメッセージをいただきました。アンケート結果には「今までの就職活動等でソーシャルセクターに関する説明は受けてこなかったで、新たな視座を得る良い機会だった」「参加前はふわっとしたイメージしか持っていなかったソーシャルキャリアが具体的に現実的な選択肢として自分の中でイメージできるようになった」「興味はありましたが全く知識の無い分野のお話で、非常に理解しやすく説明していただいた」など好意的な意見が多く寄せられ、参加者の皆さまにご満足いただけたセミナーとなりました。

今後も準会員会では、会員・準会員向けに役立つようなイベントを開催したいと存じます。

末筆ではございますが、今回本セミナーの講師をしていただいた池山允浩様、村越樹生様、高田雄将様、ご参加いただいた皆様に拝謝申し上げます。



池山允浩様

2021
10/16

公認会計士が身に着けるべきBCPの考え方

「災害や感染症に負けない
強い中小企業」づくりに向けて

2021年10月16日(土)、日本公認会計士協会準会員会では、SOMPOリスクマネジメント株式会社で首席フェローを務められている高橋孝一様をお招きして、「公認会計士が身に着けるべきBCPの考え方」「災害や感染症に負けない強い中小企業づくりに向けて」を開催いたしました。

大型台風・集中豪雨をはじめとした大規模自然災害の多発、現在猛威を振るっている新型コロナウイルス等の感染症の拡大は、企業にとつて大きなリスクであり、これらに立ち向かう事業継続対策は必要不可欠と言えます。事業を継続する計画としての「BCP(事業継続計画)」では、自社の経営状況や事業継続においての業務把握を確認することになりますが、いざBCP策定を考えると「何から手をつければよいかわからない」「どう計画に盛り込めばよいか」などで策定が遅れてしまうことにもなります。そこで、中小企業庁の中小企業強化研究会の委員などを務められ、BCPの一步でもある事業継続力強化計画の策定に精通しておられる高橋孝一様にお話しいただくセミナーを企画いたしました。

本セミナーでは、過去の災害を乗り切ってきた中小企業の実例を基に、BCPの基本的な考え方から実務における計画策定手続及びその支援方法までを網羅的に

お話いただきました。多業種の企業を実例として挙げられたので、初めてBCPという考えに接する参加者でもわかりやすいように講義が行われました。また、BCPには必ず資金の裏付けが必要となることから、常日頃企業の財政状態の分析を行つていく公認会計士こそがBCP策定支援に向いていることもメッセージとして強調されました。最後は会場参加者との質疑応答もあり、BCPに対する考えを深めていく時間を持つことができました。

参加した皆様から、多くのメッセージをいただいております。アンケート結果には「公認会計士試験では全く触れたことのない分野だったので、新たな視座を得る良い機会だった」「内部監査支援の一つのメニューとしてサービスを提供してみたい」な





高橋孝一様

ど好意的な意見が多く寄せられ、参加者の皆様に「満足いただけるセミナーとなりました。」

今後も準会員会では、会員・準会員向けに役立つようなイベントを開催したいと存じます。

末筆ではございますが、今回本セミナーの講師をしていただいた高橋孝一様、ご参加いただいた皆様に拝謝申し上げます。

2021
1/23

正しい英語学習法を学ぼう！

2022年1月23日(日)に、日本公認会計士協会準会員会東京分会主催で開催いたしました、『正しい英語学習法を学ぼう！』についてご報告させていただきます。

本講義の講師には、延べ3,000人以上に英語の学習法を伝授されてきた、英語スクールGlobali代表 川崎あゆみ様にご登壇いただきました。公認会計士と

して業務を行う上で、英語力の重要性は、近年ますます高まっております。英語を習得したいという意識が強くあっても、日本で仕事をする環境に身を置いていると、英語に触れる時間は限られており、なかなか上達せず悩んでいる人は少なくないと思います。そこで、学習法を学ぶことで、短期間で効率的に英語を習得しよう！というのが本イベントの趣旨です。

本イベントはオンライン講義形式で行い、まず、川崎様ご自身の、米国の大学に進学した当時の経験談を交え、TESOL(第二言語習得学)に基づいた、効果的かつ効率的な英語学習法とはなにか、ご説明いただきました。TOEICを高得点取れば…、時間さえ取れば…、覚悟さえ決めれば、話せるようになる」といった、世の中の考え方は非効果的かつ非効率的であり、実際に、第二言語習得学者の研究結果とは相反しているそうです。



川崎あゆみ様

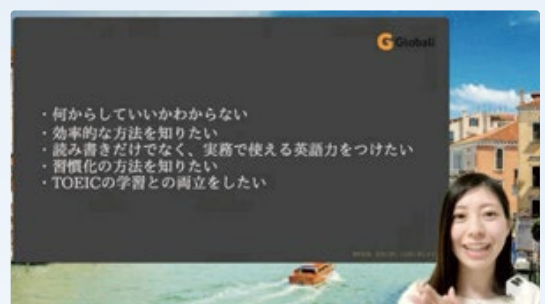
そこで、研究結果に基づき、「英語習得のための5つの効率の良いステップ」をご教示いただきました。

ステップ1と2として、*CEFRが示している6段階のレベル表を基に、自身が実現したい目標のレベルを明確にしGlobali講師によるCEFR判定による現在のレベルチェックを行いました。その後、ステップ3と5として、目標レベルに到達するための知識の整理、実践方法、習慣化する方法をとっても分かりやすくご説明いただきました。

講義終盤には、匿名の質問ソフトを利用し、参加者の質問に川崎様からご回答をいただく時間を設けました。本講義はオンライン開催で、参加者の反応がリアルタイムではわからない部分もありましたが、たくさんの方々からご質問があり、時間いっぱいまで川崎様にご対応いただき、大変盛り上がったイベントとなりました。

以上、本イベントに関する活動報告となります。一昨年より新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大し、海外渡航の機会が失われている状況が続いておりますが、英語習得へのモチベーションを再奮起させる良い時間になったのではないかと思います。今後も準会員会では、会員・準会員向けに役立つようなイベントを企画・開催したいと存じます。

最後に、本イベント講師の川崎あゆみ様及び参加された皆様に厚く御礼申し上げます。



*CEFR(セファール)とは

ヨーロッパ言語共通参照枠(Common European Framework of Reference for Languages)ヨーロッパ全体で英語をはじめとした外国語の学習者の習得状況を同一の基準で評価する国際基準(ガイドライン)

2022
2/19

スーツセミナー

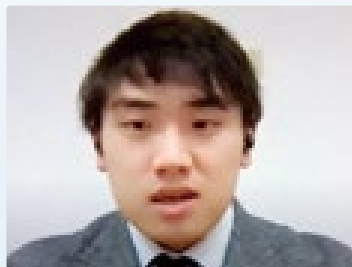
2022年2月19日(土)、日本公認会計士協会準会員会東京分会では、一般社団法人日本スーツ大学代表理事である中村武雄氏をお招きして、「ビジネススタイルについて基礎から最新の知識までをご紹介します『スーツセミナー』を開催いたしま

した。

人は見た目が9割」と言われているように、知らないうちにスーツの着こなし方で他人からの評価や印象に差をつけられている準会員もいるかもしれません。正しい服装や着こなし方、正確な知識を学ぶことで、クライアントや上司、同期や後輩にも一目置かれる存在となり、頼りになる公認会計士という印象を与えられるはずです。そのため、社会人としてスーツを着こなし、仕事へのモチベーションを高める助けになればと、東京分会では2017年度から毎年「スーツセミナー」を企画しております。昨年度から、リモートワーク中心となりましたが、オンライン会議においてもスーツを着て参加する機会も多々あるかと思えます。その際に画面越しからでも、「できる公認会計士」として見られるような着こなし方も学べ、本セミナーはとても有用なものとなりました。昨年度はオンラインとオフラインのハイブリッド形式での開催となりましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症予防対策として、初の完全オンラインでの開催となりました。

セミナーの流れは、まず

中村氏の講義を1時間、その後休憩を挟んだのち、昨年に引き続き中村氏が扱うスーツを愛してやまない準会員の鮑和薫氏にご登壇いただき、スーツの魅力等をご説明されたのち、中村氏とのフリートークをしていただきました。その後は、



準会員 鮑和薫様



講師 中村武雄様

オンラインQ&AツールのSiiidoを活用して、参加者からの質問コーナーも設けました。「社会人歴の浅い人へおすすめのスーツの色は何か?」「スーツにお金をかけた後、次にお金をかけるべきアイテムは何ですか?」といった質問が飛び交い、筆者も大いに参考になりました。ご回答としては順に「ネイビー」「革靴」でした。

初のオンラインでの開催となりましたが、参加者は7名で早速中村氏にスーツを注文された方もいらっしゃったそうです。公認会計士試験に合格して数年しか経っていない準会員としては、当セミナーは今後の社会人人生においてとても有意義なものになったかと考えております。リモートワークが一般化してきている現代だからこそ、スーツの着こなし方や見た目に無頓着になつてしまいがちな中で、見た目の重要性について改めて再認識するきっかけになったのではないかと思います。

最後に、本セミナーにご登壇していただいた中村様、鮑様及びご参加された皆様に厚くお礼申し上げます。



近畿分会

2022
1/8

2022年
Excelセミナー

新J1を対象としてExcelセミナーを1月8日(土)に開催しました。参加人数はなんと100名超!! Excelに不安を抱えている人が多いことを再認識しました。監査法人の実務ではExcelを使う機会が非常に多いです。それにもかかわらず、公認会計士試験の科目にはExcelという科目がありません。そこで、私たちは新J1を対象としたExcelセミナーを企画しました。

今回は会場参加とオンライン参加のハイブリッド方式で開催いたしましたが、事前にお願していたWiFiが手配されていなかったり、事前に何度も試したマイク音声がつまづかなかつたりとトラブル続きで、反省点の多いイベントとなつてしまいました。それにもかかわらず、参加者の皆様はZoom上で質問をたくさんくれたり、現場やZoomで真剣に聞いてくれたりと、非常に充実した時間を過ごすことができました。

来年は今回の反省を生かし、より質の高いイベントにし、少しでも多くの新人の皆様が良いスタートをきれるようサポートしたいと思います。



2022
2/5

オンライン酒蔵見学

2022年2月5日(土)に、モノの内側を探る(オンライン工場見学)と題しまして、白鶴酒造株式会社様にご協力いただき、オンライン酒蔵見学を実施いたしました。

今回は、現地とオンラインのハイブリッド形式で実施いたしました。オンラインでの参加者も画面を通して白鶴酒造のご担当者様に質問をする等、活気溢れる会となりました。

本セミナーは、コロナ禍で現場に往査に行く機会が減っている中で、少しでも「ものづくり」に興味を持ってもらおうという思いで企画いたしました。第一弾として、長い歴史がありながら日々技術革新をしている日本酒製造業の第一人者である白鶴酒造株式会社様にお伺いし、前半では資料館見学、後半では質疑応答をさせていただきました。

前半パートでは、白鶴酒造資料館館長の高田様にご案内いただきながら、資料館を見学させていただきました。日本酒造りの工程をはじめ、輸送手段である樽廻船等、多岐にわたる資料に触れ、日本酒造り自体だけでなくその背景や歴史についても知ることができました。後半パートでは、経理部長の小寺様にもご参加いただき、匿名で質問できる「Sii-do」を利用しながら様々な質問にお答えいただきました。「吟醸、大吟醸とはどのようなものか」等といった基本的な

ケート結果には「思った以上に興味深い内容で、日本酒について理解が深まった」など好意的な意見が多く見られ、日本酒造りの魅力が伝わったと感じました。

今後も準会員会では、会員・準会員向けに役立つイベントを開催したいと存じます。末筆ではございますが、今回本セミナーにご協力いただきました白鶴酒造株式会社様、ご参加いただいた皆様に拝謝申し上げます。

ものから、「日本酒製造業の財務諸表はどんな特徴があるか」といった準会員ならではの質問までお答えいただき、大変勉強になりました。

本セミナー後に、参加者の皆様からたくさんメッセージをいただきました。アン



左から二番目小寺隆様



高田昌和様



兵庫県神戸市

その他の地域分会活動報告

2021年度も前年に引き続き新型コロナウイルスの影響により、準会員会地域分会でも様々な活動に制約を受けることになりました。オンラインを中心にイベント等実施できた東京・近畿分会を除く各地域分会の昨年度の状況から本年度に向けた取り組み等を報告いたします。



北海道分会

• • •

2020年度から継続する新型コロナウイルスの影響のため、2021年度の北海道分会においては例年開催されていたイベント等の内、大半の実施は見送られる運びとなりました。そのような状況の中でも、2021年7月11日(日)には実務補習生全員を対象とした税務特別研修会を開催いただき、補習生が不得手とされる税務分野について、池田祐一先生と池脇電太先生に講義いただくと共に交流の場をお作りいただきました。講師の皆様及び実施に際してご準備いただきました日本公認会計士協会北海道会事務局の皆様にご礼

申し上げます。

本年度につきましても、感染拡大の終息の動きがみられないことから、現状で開催を予定しているイベント等はございません。しかしながら、依然として実務補習所の講義もWeb中心であることから、法人をまたいだ準会員間の交流機会はますます貴重なものとなっております。こうした貴重な機会を増やし交流の場を設けるべく、新規に準会員会に加入されるJ1の方々の歓迎会の他、オンラインにてイベントを実施する等の可能な形での活動を行っていくことを考えております。



東北分会

• • •

2022年度東北分会は、監査法人所屬1,2年目を中心としたメンバー8名で活動していくこととなりました。過年度においては異業種交流会や公認会計士試験受験生への制度説明会など東北分会外部への広報活動を行ってまいりました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響からそのような外部イベントの開催は簡単ではないことを踏まえ、当年度は前年度に引き続き東北分会内部の交流を深めることを中心に活動を予定しております。公認会計士業界全体として在宅勤務の比率が高まっている現状において、職場内でのコミュニケーションが希薄になっていることが想定されます。そこで、東北分会では、オンラインを活用した懇親会等を実施することで所属監査法人以外にもネットワークを作り、気軽に悩みやキャリアの相談ができる場を増やしたいと考えております。



東海分会

• • •

例年、東海分会においては、弁護士等の専門家と会計士の交流の場としての異業種交流会や、事務所の垣根を超えたつながりができるよう、合格発表後に新人歓迎会を行っていました。異業種交流会では、普段の仕事で関わるのが少ない業種の方と話をし、新しい知見を得ることや、今後働いていく中でその繋がりを有効活用していくことを目的として実施してまいりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響から、ここ最近では異業種交流会や新人歓迎会は中止し、準会員会東海会の周知と新人歓迎の意味を込めて新J1全員に筆記具の贈呈などを行いました。

今年度においては、新型コロナウイルス感染症の拡大が落ち着いてきていることから、準会員会内での交流会を開催できないか模索しております。新人歓迎会は過去実施した際に、「同じ法人だけでなく、他法人の同期及び先輩と関わりを持つことができよかった」と好評をいただいております。これらも声を踏まえて、このような新人歓迎会か、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響でこれらのイベントが実施できなかった世代を含めた交流会を実施し、準会員会東海会の周知、および地域の公認会計士業界の発展に寄与できればと思っております。



中国分会

毎年恒例行事となっております弁護士会とのフットサル交流会を2022年10月22日(土)に開催する予定だったのですが、当初予想していたよりもコロナの状況が悪化してしまい、やむなく中止となりました。昨年、一昨年も同様の理由で中止になってしまったため、これで3期連続での中止となります。異業種の方々との交流は知見を深め、人脈を広げる大変貴重な機会となるとともに、個人的には運動不足を解消するチャンスでしたので、非常に残念な結果となりました。来年は試合後の懇親会を含め、無事開催できることを願っております。お忙しい中で参加を希望してくださったフットサル選手の皆さまには感謝申し上げます。

今後の活動予定としては、近畿会、東海会の皆さまと合同で新J1向けにExcel研修を開催する計画を立てております。Excelは会計士としては必須のスキルですので、入会後すぐの研修でスタートダッシュとなることを期待するとともに、リモート開催で他地域の分会の皆さまと交流できる良い機会となることを楽しみにしております。研修の開催企画を呼びかけてくださった近畿会役員の皆さまに厚くお礼申し上げます。



四国分会

四国分会は、総勢30人の小さな分会です。そのため、準会員同士の距離も近く、コロナ禍以前は、様々なイベントを開催してまいりました。

しかし、ここ数年は、新型コロナウイルスの流行が長期化している影響で、過去に実施してきたJ1歓迎会等の主だったイベントが開催できておりません。

当年度につきましても、依然として流行の終息の見通しが立たないことから、大きなイベント等の開催は現在予定しておりません。その一方で、感染状況の落ち着きや行動制限の緩和等、明るい兆しも見え始めておりますので、限られた準会員の期間における貴重な交流の機会を絶やさないためにも、他の分会の活動実績を参考にさせていただきながら、状況を鑑みて可能なことから活動に励んでいく所存です。



瀬戸大橋



北部九州分会

2021年度は新型コロナウイルスの影響で準会員会としての活動はできませんでした。

例年北部九州会では、J1歓迎会を実施しています。J1歓迎会は、公認会計士試験に合格し胸を膨らませるJ1を迎え入れる重要な場です。

2020年度に続き開催を見送ることとなつてしまい非常に残念ではありますが、その中でも懸命に業務に励むJ1を見ると頼もしい気持ちになります。

2022年度についても、依然として新型コロナウイルスの終息が見通せないため、具体的なイベントの実施予定はありません。

準会員会のイベントは、準会員同士の交流の場を増やす貴重な機会です。

他分会では、フットサルや異業種交流会を実施しているようですので、参考にさせていただけたらと思います。

感染状況を見ながらではありますが、できることから活動を増やしていければと考えております。

引き続き北部九州会をどうぞよろしくお願いいたします。



福岡 PayPayドーム

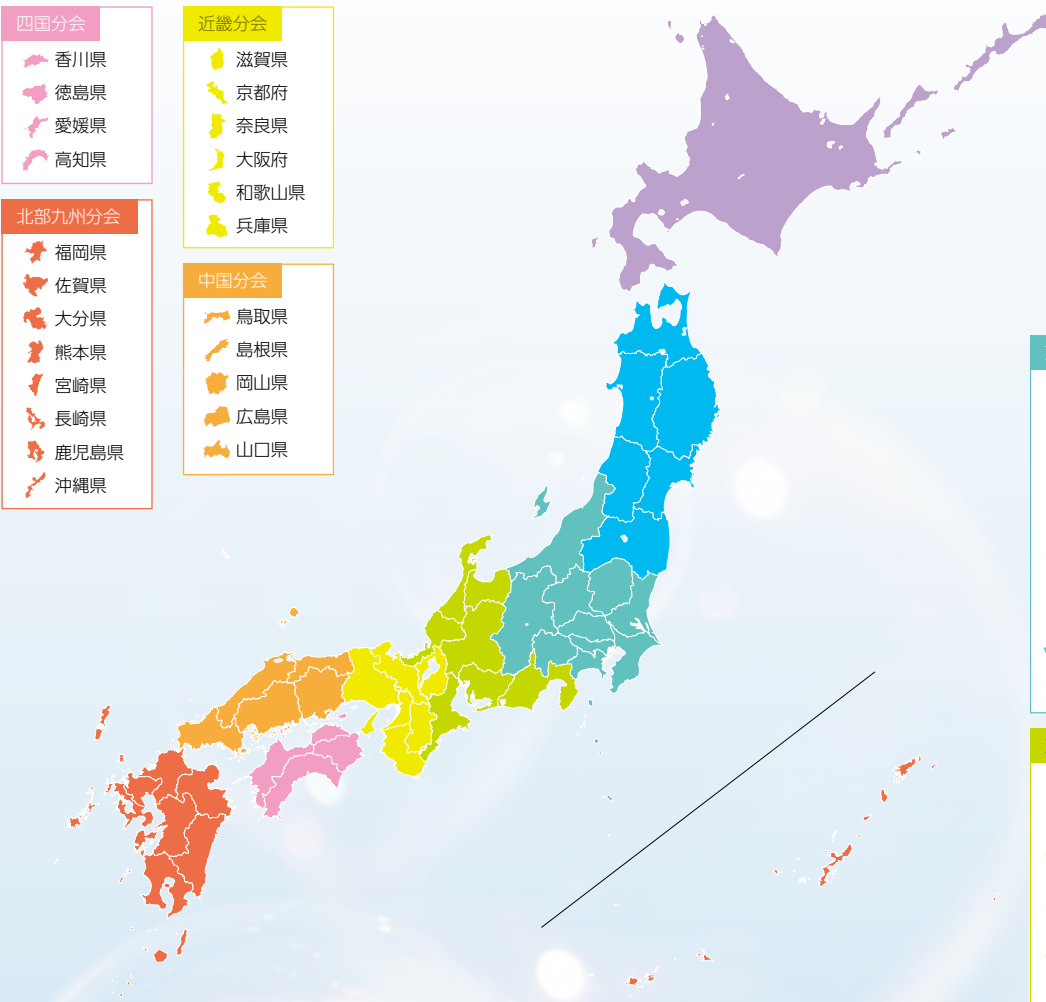
全国

- 四国分会**
- 香川県
 - 徳島県
 - 愛媛県
 - 高知県

- 北部九州分会**
- 福岡県
 - 佐賀県
 - 大分県
 - 熊本県
 - 宮崎県
 - 長崎県
 - 鹿児島県
 - 沖縄県

- 近畿分会**
- 滋賀県
 - 京都府
 - 奈良県
 - 大阪府
 - 和歌山県
 - 兵庫県

- 中国分会**
- 鳥取県
 - 島根県
 - 岡山県
 - 広島県
 - 山口県



- 東京分会**
- 新潟県
 - 群馬県
 - 栃木県
 - 茨城県
 - 長野県
 - 埼玉県
 - 千葉県
 - 山梨県
 - 東京都
 - 神奈川県

- 北海道分会**
- 北海道

- 東北分会**
- 青森県
 - 秋田県
 - 岩手県
 - 山形県
 - 宮城県
 - 福島県

- 東海分会**
- 富山県
 - 石川県
 - 福井県
 - 岐阜県
 - 愛知県
 - 静岡県
 - 三重県

2021
11/21

全国幹事会

2021年11月21(日)、全国各地の準会員会幹事により全国幹事会が開催されました。年に三回行われる全国幹事会とは日本全国の準会員会幹事が一堂に集まる重要なイベントです。例年ですと、一つの場所を共有して互いに顔を合わせることで地域分会の垣根を超えて交流を深める時間でしたが、新型コロナウイルス感染症への警戒のため、昨年に引き続き今回もリモートでの開催となりました。

午前中は日本公認会計士協会常務理事である鶴田光夫様よりご挨拶をいただいた後、各地域からの報告がなされました。コロナ禍の影響により対面でのイベントが実施できなかったこと、リモートでイベントを行った場合は会場代が必要なかったことから、全体的に予算の執行が少なかった

ことが明らかとなりました。また、6月の全国幹事会時点では担当者の決まっていなかった財務委員長、国際委員長に東京分会の橋本浩行氏、同じく東京分会の杉山芹奈氏の就任が正式に決定され、準会員会の活動基盤が強化されることとなりました。

午後の部は準会員会幹事間の交流を深めることを目的に、代表幹事の森田湧貴氏による企画のもと、株式会社Seven Rich Accountingから小山侑子様、袖川航平様の2名のコーチをお招きして幹事へのコーチングを実施しました。公認会計士を目指した理由、どのような公認会計士になりたいか等を掘りし、幹事同士で意見交換を行いました。公認会計士として幹事各々の目標を見つめ直す良い機会となったほか、これらのセッションをテーマごとに違うメンバーで行ったため、幹事同士の交流も深まりました。

全国幹事会後の懇親会でも交流は続きました。アイスブレイクを兼ねた様々なゲームでのやり取りや各地域分会での様子を伝えあう会話が絶えず、大盛況のうちに終わりました。今年もリモートでの開催ではありましたが、Teams等の扱いにも慣れて交流が一段と深まったと考えます。とはいえ、やはりリアルでの対面こそ伝わるものがあることも事実です。来年の全国幹事会では、実際に会って開催できることを心より願っております。

今後準会員会では会員、準会員向けに役立つようなイベントを開催したいと存じます。末筆ではございますが、今回お

分会活動報告

分会名	開催日	内容	出席人数	参加人数	開催費用
1 近畿分会	11/21	近畿分会幹事会	100名	120名	10,000円
2 東京分会	11/21	東京分会幹事会	80名	100名	8,000円
3 北海道分会	11/21	北海道分会幹事会	50名	60名	5,000円
4 東北分会	11/21	東北分会幹事会	40名	50名	4,000円
5 関東分会	11/21	関東分会幹事会	60名	80名	6,000円
6 中部分会	11/21	中部分会幹事会	30名	40名	3,000円
7 中国分会	11/21	中国分会幹事会	20名	30名	2,000円
8 四国分会	11/21	四国分会幹事会	10名	20名	1,000円
9 九州分会	11/21	九州分会幹事会	15名	30名	1,500円
10 沖縄分会	11/21	沖縄分会幹事会	5名	10名	500円

集まりいただいた鶴田様を始めとした日本公認会計士協会の皆様、全国の準会員会幹事の方々、及び株式会社Seven Rich Accountingの小山様、袖川様に拝謝申し上げます。



2022
3/20

全国幹事会

2022年3月20日(日)、準会員会全国幹事会が開催されました。

全国幹事会とは、準会員会執行部の主催により、普段各分会で活動している準会員会幹事が一堂に会し、執行部・各分会の活動報告による情報共有や、各分会で活動する幹事同士が交流し、親睦を深めることを目的として開催される会合です。

新型コロナウイルス感染症の拡大前は、全国幹事会が年3回(2月・6月・10月)実施され、開催地は6月が東京、2月・10月は毎年執行部の判断で選択されていきました。昨今のコロナ禍においては、感染拡大を防止するため、Microsoft TeamsやZoomを用いたリモート会議を前年度より全国幹事会から取り入れております。

今回の2022年3月の全国幹事会もTeams&Zoomにて開催いたしました。

午前は代表幹事・各委員長・各分会長による報告、午後からは全国プロジェクトとして外部講師を招いたコーチングイベントを実施いたしました。

午前の部ではコロナ禍において、例年行っていたイベント活動の中止を余儀なくされている各分会の活動報告が詳細に行われました。改めて昨今のコロナ禍による影響、特に準会員会のリフルート活動への影響の大きさを各分会で共有しております。一方

で、リモートによるイベントの活動実績も報告され、コロナ禍における新しい活動の在り方として、成功事例を横展開していく可能性についても報告が上がりました。

午後の部では、株式会社Seven Rich Accountingの袖川航平氏を講師としてお招きし、全国イベントとしてコーチングWorkshopを行いました。対面で幹事会を実施できないことから、幹事間の関係性の希薄化をカバーすることも踏まえつつ、グループワークで幹事同士の交流を深めることができ、今後の幹事活動の活性化を図りました。

こうしてすべてのプログラムが完了し、無事今回の全国幹事会は終了いたしました。

2022
6/19

全国幹事会・通常総会

2022年6月19日(日)に夏の全国幹事会及び通常総会を執り行いました。夏の全国幹事会・通常総会は準会員会の新旧執行部の交代があるなど、日本公認会計士協会準会員会(以下「準会員会」という。)にとって特に重要なイベントです。直近2年の全国幹事会においては、新型コロナウイルス感染症による影響のためリモートにて開催していましたが、今年度は東京の公認会計士会館にて実際に集まって行う

ことができました。3年ぶりの会場開催で、現体制の幹事が初めて一堂に会したということ、会場のいたるところで初対面の挨拶が交わされることとなりました。

午前中の全国幹事会では、10時に開会したのち、代表幹事報告、財務、国際、広報委員長からそれぞれ、一年



間の活動に関して報告が行われました。各地域会からもそれぞれの活動報告が行われ、改めてこの一年を振り返る機会となりました。やはり新型コロナウイルス感染症の影響が強く、従来行われていた交流会が中止になった等の報告が上がりました。ただ、そのような中でもリモート開催によるイベントを遂行するなど、各地で工夫を凝らした活動も報告されました。全国での幹事の活動が共有され、それが各分会での活動に活かされることが期待されます。また、次の年度に向けて新たな代表幹事が立候補表明を行い、全員が信任されました。準会員会東京分会からは代表幹事として森田湧貴氏と金子千尋氏の2名、近畿分会から井上新之介氏、合計3名が立候補し全員信任されました。森田氏と金子氏は昨年からの引き続いての就任となります。森田氏からは全国幹事会の活性化、

金子氏からは後任への引継ぎ体制への充実化、井上氏からは地域分会活動の活性化への抱負がそれぞれ述べられました。

午後からは通常総会が開催されました。通常総会では、準会員会だけではなく手塚正彦日本公認会計士協会会長をはじめとした本部の方々をお招きしてご挨拶を賜りました。報告・審議事項として、第56事業年度事業及び会務報告の件、第56事業年度決算報告の件及び第57事業年度収支予算案報告の件が報告され、第57事業年度事業計画案が賛成多数により承認されました。また、日本公認会計士協会のシンボルマークとロゴマーク（新ブランド導入）に合わせて準会員会でも新たなロゴマークを導入することが賛成多数により可決されました。当該ロゴマークに込められた理念を手塚会長から直接伺うことで、幹事の間でも新しいロゴへの思いが共有されたことから、大変有意義な時間になったと考えられます。

今後準会員会では、会員・準会員向けに役立つようなイベントを開催したいと存じます。末筆ではございますが、今回全国幹事会・通常総会に関係された皆様に拝謝申し上げます。



日本公認会計士協会準会員会新ロゴについて

日本公認会計士協会は2022年4月に新ブランドを発表いたしました。それに伴い準会員会も新ブランドを使用することになりました。新ブランドは以下の2点になります。ご使用に当たっては準会員会広報委員会にお問い合わせ下さい。



● 新ロゴマークについて（「JICPAのブランディング施策について」より）

協会ロゴ

・「JICPA」から「jicpa」へ

堅実な、真面目な、権威や伝統的なといった公認会計士の持つこれまでの印象から、社会や暮らしとの関係をより親密に構築していく、柔らかさ、優しさ、親しみを感じさせる小文字表記に変更しました。

今回のロゴリニューアルには、新たな目標に挑戦していく当協会の変革と挑戦への強い意志を込めています。

・ロゴデザインについて

全て小文字表記にすることで角がなくなり、丸の構成が特徴的な新しい協会ロゴは、正円と縦棒2つのパーツで構成されています。「j」と「i」は上部2つの正円が象徴的です。これは、人と人とのつながりを表しています。「cpa」は全て正円でデザインされています。正円とは、「少しのゆがみもなく完全な形」であり、とても安定的であり美しさがあります。そして角がないので優しさを感じます。また、丸は輪にも見え、輪がつながり広がる意味も込めています。

タグライン

・中核概念に込めた思いや決意を伝えるためのコミュニケーション用フレーズ

（日）信頼の力を未来へ

（英）Building trust, empowering our future

中核概念

・社会に対して公認会計士が果たしたい役割を示した言葉

私たち公認会計士は、高い倫理観と専門的知見をもとに説明責任を究め、世界の人々と共に社会に信頼を創り上げていくことで、安心で活力に満ちた豊かな社会の創造に貢献するプロフェッショナルです。

ブランドの考え方・解説

将来の予測が難しく「確かなもの」が見えにくい時代の中、社会における「信頼」の重要性がこれまでになく高まっています。

私たち公認会計士は、監査、財務、会計、税務、コンサルティング等における専門的知見や幅広い知識、高い倫理観を備えたプロフェッショナルとして、社会における説明責任を支えながら、自らも様々な役割での説明責任を果たすことで、長年にわたり社会に「信頼」を創り出してきました。

これからも、私たち公認会計士は、一人ひとりが説明責任を究めていくことで、プロフェッショナルパートナーとして世界の人々とともに「信頼」を社会の隅々まで満ちし、安心で活力に満ちた豊かな社会の創造に貢献し続ける、明るい未来を切り拓いていきます。

編集スタッフ

金子	千尋
小林	紀輝
森田	湧貴
杉山	芹奈
依田	翔
村上	昌志
白井	遼平
山本	悠雅
多田	亮太
榊原	弘恭
安保	千尋
原田	康平
大久保	道夫
井上	新之介

編集後記

2022年10月の全国幹事会を先日終え、全国の各分会との交流を深めてきましたが、コロナ禍の落ち着きに合わせて、地区分会の活動活発化のきっかけ作りの良い機会となりました。来年同時期に発行予定の次回JIIAジャーナルでは、地区分会の活動報告がより充実したものになると期待しております。今後とも準会員の活動を温かく見守っていただければ幸いです。

準会員会広報委員長 井上 新之介

日本公認会計士協会準会員会東京分会

■ お問い合わせ

tokyo@jija.jicpa.or.jp

■ WEB

<https://www.jija.jicpa.or.jp/>

